



「ソーシャルボンド」への投資について ～SDGs達成に向けた取り組み～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行するソーシャルボンドへ投資しましたので、お知らせいたします。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決を目的とした事業に充当される債券です。

本債券の発行により調達した資金は、政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上国の社会課題の解決や、日本および国際経済社会の健全な発展のために活用され、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs^(注)）」の達成に貢献するものです。

当行は、「百十四銀行 SDGs 宣言」を制定しており、今後も ESG 投資を通じて持続可能な社会の実現につとめてまいります。

（投資したソーシャルボンドの概要）

銘柄名	第 55 回国際協力機構債券
年限	10 年
発行額	100 億円
発行日	2020 年 9 月 28 日
資金使途	政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業に充当
その他	株式会社日本総合研究所より、ソーシャルボンドの特性に従うものとしてセカンドオピニオンを取得しております。

（注）「**Sustainable Development Goals**」の略称。2015 年 9 月の国連サミットで採択され、2030 年までに国際社会が達成すべき「貧困や飢餓の根絶」「環境保全」「多様な人材の活躍」「技術革新」等の 17 の目標とそれを実現するための 169 のターゲットで構成されています。

以 上